

輪 第 4 5 4 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

安 八 郡 輪 之 内 町
町 長 木 野 隆 之

今後の道路行政についての意見・提案の提出について

国道企第37号、平成20年9月9日付けにて依頼のありました件について
別紙の通り意見・提案を提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

岐阜県輪之内町

道路は、豊かな生活の実現と国土の均衡ある発展のための最も基本的な施設であり、住民生活に直結し経済、社会活動を支え、地域の活性化と豊かな生活を実現するため安全で安心な道づくりを目的として、優先的に整備されるものと考えます。特に、特定の道路に交通が集中し渋滞を引き起こすなど、幹線道路の整備の遅れは各方面で多大な影響を及ぼしています。

こうした背景から道路の整備は不可欠で道路建設にあたっては、採算性や経済効果等のみではなく、地域の実情等を十分に勘案した道路づくりが進めば、産業・観光振興により雇用の創出、住宅の建設などが活発になり安心して暮らせる地域社会の形成、地域経済の活性化が図れると思います。道路整備を計画的に、早期に建設されることを願うものです。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

岐阜県輪之内町

○現状

輪之内町は、揖斐川・長良川の二大河川に挟まれ、周辺には名神高速道路大垣・羽島インターがあり重要な交通の要衝地となっておりますが、養老・輪之内・海津地域を東西に結ぶ道路路線・主要地方道羽島養老線の福東大橋と県道養老平田線の今尾橋の間には橋も無く、福東大橋については慢性的な渋滞により通行にも支障をきたし、広域経済の発展をも阻害しております。また揖斐川左岸堤の県道今尾大垣線につきましても、現在、一車線で大型車が多く相互交通がスムーズに通行することが困難な状況下でもあります。

道路は、住民の生命と財産を守る生命線であり安全性快適性、利便性の向上をも求めています。

最近の大地震や、ゲリラ豪雨による河川の氾濫、内水排除が困難な地域（輪中地域）で常に水との関わり合いの深い関係の中で、これらが整備されると被災時におけるこの地域の安全性は格段に向上します。

○課題

東海環状自動車道の西回りルートが整備され、全線開通すれば、大動脈である名神高速道路と第２名神高速道路がショートカットで結ばれ、東海環状自動車道の養老 IC と直接アクセス道路と直結する新しい長大橋の架橋及び揖斐川左岸堤の県道今尾大垣線の二車線化については、広域的な連携・調整・交流が必要とされている中で、厳しい財政運営が予想される我が町としても大きなテーマでもあると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像

岐阜県輪之内町

これらの目標を実現する政策として、広域的に結ぶ幹線道路の整備や観光振興、企業誘致を進めていくことが重要であると考えます。特に東西幹線道路の整備の遅れは、慢性的な渋滞を引き起こし、地域産業や観光振興、日常生活や住環境にも多大の影響を及ぼしています。

幹線道路の整備は、特定の町だけに整備されても効果が薄いものとなります。ネットワーク的な機能を期待される幹線道路の整備効果を発揮させるには、各自治体との連携・調整のもと、整備箇所の選択と集中により、具体的に方針を明確にしていく中で重点的に整備していくことが重要であると考えます。

こうした状況下にある中で、西濃南部の地域住民の生活と社会活動を支える東海環状自動車道のICへのアクセス道路と直結する長大橋《(仮称)新養老大橋》を架橋することにより、交通の混雑緩和を図るだけでなく、活性化・利便性など地域資源と密接に関連し、広域の交流・連携の推進・均衡ある発展に大きく寄与することができるものと考えます。